

宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



5月、(皁月 さつき)。今年の桜は開花時期が遅れ、予想と外れましたが、秋保に新園芸品種の「秋保足軽紅重」という桜があることを知りました。秋保大滝から車で約5分、仙台市太白区秋保町野尻地区にある交流カフェ「ばんどころ」の中庭に植栽された樹齢約270年の桜が、(公財)日本花の会の鑑定の結果、新種の桜と判明したそうです。北海道などの寒冷地に自生するオオヤマザクラと同じ粘性を持っており、通常5枚の花弁が6,7枚混じる一般的なヤマザクラに比べ1.5倍大きい直径約3~4.5cmの淡紅色の花を咲かせるそうです。名称は野尻地区住民を対象に投票を実施し、「秋保足軽紅重」に決まったそうです。来年の事を言えば鬼に笑われるそうですが、見に行かれたらと思い紹介させていただきました。

1. 5月の行事予定

日 時	行 事 名	場 所
月日()	今月は特に行事はありません。	

2. 「第30回おひなまつり会」を行う(宮城県日中友好協会女性委員会委員長・水戸憲子)



3月10日に恒例の「おひなまつり会」を仙台国際センター研修室で開催しました。3月3日は”女の子の節句“ですが、中国にはない行事。今回は男子留学生やお父さんの応援参加もあり、5か国48名のアットホームな楽しい集いとなりました。

午前は来賓あいさつ(県日中・金井恭子、横山弥生副会長)、留学生と華僑華人の自己紹介、雛あられ付きの“雛祭り弁当”のお食事会、午後からはおひな様の由来と紹介アニメを上映、続いて「みんなで歌おう」では「うれしいひなまつり」の他、中国でも歌われている日本の歌を友情出演の平間秀一さんのギター伴奏で、日本語と中国語を交えて「北国の春」また「昴」を男子留学生、「月亮代表我的心」を女子留学生、最後に「幸せなら手をたたこう」を皆で合唱。会場席から親子の登場もあり、皆で楽しく歌いました。最後に、華人女子の「仙台華花踊りチーム」による少数民族の踊りが披露され、参加者を魅了しました。

この他、全員参加のビンゴゲームで非常に盛り上がりました。今回は初めてミニフェスティバル的な試みでしたが、皆さんからは「とても温かさが感じられる企画でした」「おひなまつりのアニメがよかった」「大変楽しい時間でした」と感想をいただきました。



3. 東北地区中国学友会の新役員について

2024年度の新役員が決まりました。会長は張馨予さんから程鑫さんに、事務局長は蔣逸塵さんから洪逸飛さんに代わりました。何か行事等で連絡を入れたい時は県日中に連絡を入れていただければ幸いです。

4. 大河原日中友好協会 2024年観桜会を実施しました（大河原日中友好協会事務局長 鈴木 悟）

昨年、例年になく桜の開花が早まり、今年も相当早まるだろうと予想されましたが、3月下旬は暖かい日も少なく、ツボミが一向に膨らまず、3月31日中央公民館での開催当日は、見事に一輪の開花もありませんでしたが、46人の留学生が参加してくれ、合計60人で観桜会を開催することができました。

多くの来賓からご祝辞を頂き、記念写真を撮り、飲食を楽しみ、若い留学生と有意義な交流することが出来ました。

我が大河原日中友好協会は、後世に何を残せるかと考えるとき、金額でなく、施設や物でなく、思想・書物でもなく、「あの協会は、真面目なる活動を一生懸命やった」という行動・思い出を残したいと思えます。おかげさまで、本年も楽しい思い出多い「日中友好」を実施することが出来ました。

なお、宮城県日中友好協会からは、武智英生さんに出席していただきました。また、活動助成金を頂き、大いに助かりました。皆様に感謝いたします。



5. 宮城県日中友好協会の事務連絡について

1. 理事会

日時：7月20日（土）13：30～
場所：仙台国際センター。

2. 2024年度定期総会並びに懇親会

【総会】

日時：8月31日（土）13：30～
場所：宮城県民会館 602 会議室

【懇親会】

日時：8月31日（土）15：30からの予定。詳細は後ほどお知らせいたします。

6. 劇場版「再開長江」のご案内について

長江源流、最初の一滴を求めて6,300kmの旅
驚きと感動のドキュメンタリー

テレビが伝えない中国激動の10年、
衝撃の変化!

中国の母なる大河・長江。上海、南京、武漢、重慶、雲南、チベット高原まで、巨大な中国大陸を縦断する、アジア最大の大河だ。日本人監督の竹内亮は、10年前に11回の冒険で長江を縦断した。一つの後悔があった。それは記録・冒険に次ぐ毎週第三の格地と呼ばれるチベット高原にある「長江源流の最終一滴」を獲れなかった事。それから10年、日本から中国産産品を運ぶ「長江沿いの航路」へ入った竹内亮は、2021年から5年かけて再び長江6,300キロを走破する。旅の途中で10年前に撮った友人たちと再会しながら、一本の大河を通して中国の10年の変化を見つめ、今度は「最終一滴」をカメラに収め、長江源流をめざす。

竹内亮 監督
1978年生まれ、千葉県船橋市出身。代表作にNHK「長江」大冒険のテレビドキュメンタリー。テレビ番組「竹内亮の中国紀行」、YouTubeチャンネル「竹内亮の中国紀行」が人気。YouTubeで100万再生を達成している。2011年、中国の探検家・長江源流チベット高原へ。長江大冒険のテレビドキュメンタリーを制作。中国産産品を運ぶ「長江沿いの航路」へ入った竹内亮は、2021年から5年かけて再び長江6,300キロを走破する。旅の途中で10年前に撮った友人たちと再会しながら、一本の大河を通して中国の10年の変化を見つめ、今度は「最終一滴」をカメラに収め、長江源流をめざす。

苏娟 出演人物
唯一の中国産産品を運ぶ「長江沿いの航路」で活躍している。2011年、竹内亮と再会した冒険中に、ネット上の少女・蘇娟（スー）と偶然出会う。当時18歳だった彼女は、再会して大に感ずった。蘇娟は少額の資金を手に、ネット上の探検家の竹内亮と再会した。蘇娟は、中国産産品を運ぶ「長江沿いの航路」で活躍している。2011年、竹内亮と再会した冒険中に、ネット上の少女・蘇娟（スー）と偶然出会う。当時18歳だった彼女は、再会して大に感ずった。蘇娟は少額の資金を手に、ネット上の探検家の竹内亮と再会した。蘇娟は、中国産産品を運ぶ「長江沿いの航路」で活躍している。

4/12(金)公開
ムビチケカード ¥1,600(税込) 観覧券定額
この映画の劇場版は公式サイトへ
https://www.yangtze.com

再会長江 完成披露試写会
制作期間10年のドキュメンタリー大作

劇場版
THE YANGTZE RIVER
再会長江

会いに行く。

監督 竹内亮
ナレーション 小島博子
制作 株式会社アスファクトリー

6300kmの旅を見た、激動中国の10年。

長江源流、最初の一滴を求めて6300kmの旅の驚きと感動のドキュメンタリーが仙台市のフォーラム仙台で5月10日（金）～5月23日（木）までの予定で上映されることになりました。

監督は竹内亮氏で、製作期間10年間の中国の変化を見つめ再度「最初の一滴」をカメラに収めるべく長江源流を目指したものです。

是非、鑑賞をお勧めいたします。